



## 「新」 ～令和5年 今年の一文字～

「新」しい年が始まり、1カ月余り経ちましたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。

昨年を振り返りますと、流行を繰り返す新型コロナウイルス感染症や、ウクライナ情勢などから発した物価高騰、歴史的な円安などが、町民生活に大きな影響を及ぼしました。

町として、ワクチン接種の推進や、生活応援クーポンの発行、中小企業などへの応援金の給付など、「命」と「暮らし」を守る取り組みを実施してまいりました。

その一方で、感染対策に気を付けながらも、行事やスポーツイベントなど人の集まりが少しずつ戻ってきました。私もできる限り参加させていただきましたが、活気あふれる地域活動や、まちを盛り上げようとする皆さんの姿に胸が熱くなりました。

町民や事業者の皆さんの、ご協力に対して、改めてお礼申し上げます。

また、出生者数や人口の増加も続き、先月にも「新」たな認定こども園、児童クラブが開園されました。未来に向かって町が

発展していく動きが続いていることをうれしく感じます。

また、町では、職員の気持ちを一つにして業務に取り組むため、職員からの提案により、その年のキーワードとなる一文字を設定しております。

令和5年は、「新」庁舎への移転に伴い、職員一同、町民の皆さんに尽くすという気持ちを新たにするという意味を込めて、『新』を今年の一文字といたしました。

平成28年の「一」から始まり、「連」、「開」、「明」、「輪」、「健」、「翔」、「新」と続け、今年で8年目を迎えます。

並べてみますと、「一連開明輪健翔新」となります。

この『新』の一字のもと、格致日新※の心構えで、ウィズコロナなどの「新」たな生活様式や、「DX(デジタル・トランスフォーメーション)」などの変革に対応した「新」しいサービスの提供に、職員一丸となって取り組み、暮らしやすさを実感していただけまちづくりに邁進してまいります。

※格致日新:物事の本質や真理を追究し常に向上し続けること。

## 今月の休日診療当番医

※診療科目外の症状については、対応できない場合があります。当日の新聞で、変更の有無や町外の当番医を確認してください。

2月 5日(日・祝)	くるしま内科循環器クリニック	(成本 ☎821-2212)
2月11日(土)	深坂内科循環器科	(窪町 ☎823-0588)
2月12日(日)	南海田病院	(栄町 ☎823-8855)
2月19日(日)	みぞて眼科	(西浜 ☎821-2601)
2月23日(木・祝)	しらね泌尿器科クリニック	(西浜 ☎821-1900)
2月26日(日)	こころのクリニックひまわり	(窪町 ☎847-3111)

広島県内の当番医は「救急医療Net Hiroshima」【<http://www.qq.pref.hiroshima.jp/>】で確認できます。

## 広島県小児救急電話相談(毎日19時～翌8時)(こどもの救急電話相談)(☎#8000または☎505-1399)

小児科勤務の経験がある看護師(小児科医師が支援)が専門的なアドバイスを電話で行います。

## 救急相談センター広島広域都市圏(24時間)(☎#7119または☎246-2000)

看護師が緊急性や応急手当の方法、適切な医療機関などについて電話でアドバイスを行います。

## 救急診療

- 広島市立舟入市民病院(広島市中区舟入幸町14-11 ☎232-6195)小児科(24時間)
- 広島市立広島市民病院(広島市中区基町7-33 ☎221-2291)歯科・歯科口腔外科を除く科目(24時間)
- 安芸市民病院(広島市安芸区畑賀2-14-1 ☎827-0121)  
内科または外科(土・日曜、祝日18時～23時)※診療科目については、当日電話で確認してください。
- 千田町夜間急病センター(広島市中区千田町3-8-6 ☎504-9990)内科(15歳以上)・眼科・整形外科・外科(19時30分～22時30分)
- 広島口腔保健センター  
(広島市東区二葉の里3丁目2-4 ☎262-2672)歯科(日曜・祝日・お盆・年末年始9時～15時)
- 広島県小児救急医療電話相談(こどもの救急電話相談)(☎#8000または☎505-1399)  
小児科勤務の経験がある看護師(小児科医師が支援)が専門的なアドバイスを電話で行います。(毎日19時～翌8時)